

「クリーンビーコン標準化委員会」設立趣意書

2015年9月

目的

Bluetooth Low Energy（以下 BLE）のアドバタイジング・パケット信号を利用した BLE ビーコン技術による位置情報応用サービスが普及しつつあります。これは、BLE インタフェースを持つスマートフォン等の携帯端末がアドバタイジング・パケットにより送られる情報をアプリケーションで受信し、受信した情報よりサーバー等におけるサービスを利用して、位置情報に変換し、位置情報より得られる固有の情報よりサービス提供を行うものです。

BLE 技術による位置情報を用いたアプリケーションは、BLE をサポートする携帯端末が多いことから、その普及が期待されています。屋外の位置情報は GPS の衛星信号を受信して獲得することもできますが、GPS 機能搭載のスマートフォンの数が限られること、衛星信号の到達経路(マルチパス問題)、受信端末からの GPS 衛星の見通しの有無により、得られる位置精度に大きなバラツキがあり、位置情報として応用できる範囲と機会は限られています。

BLE 技術により、位置情報を提供するには、BLE ビーコンを発出する装置を利用目的に応じて設置すること、その駆動電源を確保すること、設置した装置の保守コストを低減することなどの要件があります。この要件を満たすためには、BLE ビーコン装置の構成に関して技術課題があります。例えば、電源が確保できないところでは電池を利用した装置構成となりますが、電池が自然放電することを考慮すると長期間、例えば 5 年間、無保守で運用することはできず、定期的な電池交換の保守が発生します。保守コストは装置の設置場所により異なりますが、ビーコン装置は比較的高所に設置されるため電池交換のコストは高価であると考えられます。

これらの問題を解決するため、光発電で発生した電力を効率よく蓄積する自立電源を搭載し、メンテナンスフリーで運用できる「クリーンビーコン」の開発を進めています。

ここに設立を提案するクリーンビーコン標準化委員会は、開発した「クリーンビーコン」の普及に有効な各種情報を取りまとめ、情報公開、標準化により技術の普及を進めることを目的とします。

委員会の主な業務

クリーンビーコン標準化委員会は、以下の活動を行います。

(1) クリーンビーコンガイドラインの提案

クリーンビーコンの開発・運用試験の結果をとりまとめ、クリーンビーコンのライフサイクルを明らかにするクリーンビーコンガイドラインを作成し、ガイドラインに委員会メンバー（会員企業）からのコメントを反映させた後、一般に公開します。

(2) クリーンビーコン国際標準化の推進

クリーンビーコンを普及させるために必要な標準化項目をガイドランから抽出し、委員会メンバー（会員企業）による標準化項目としての妥当性の議論の後、標準化項目の国際標準化を進めることができる国際標準化・国内委員会への提案を行います。

(3) クリーンビーコン普及に向けた標準化活動の支援

会員企業によるクリーンビーコン普及に向けた標準化活動（標準化寄書のレビューや標準化寄書の作成、外部標準化団体との調整等）を支援します。

構成

BLE ビーコン、自立電源に関わる事業、および研究を行なう企業、研究機関、等で、本会の設立趣旨に賛同される方で構成します。

事務局

本委員会は、会合開催、事務連絡、等の事務局業務を株式会社サイバー創研が行ないます。

発起人

株式会社サイバー創研 黒田 幸明

東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号

リアライズ・モバイル・コミュニケーションズ株式会社 藤森 和香子

東京都港区六本木二丁目4番5号

株式会社日立製作所 今給黎 康一

東京都千代田区外神田一丁目18番13号